



平成 23 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 河原 春郎  
(コード番号 6632 東証第一部)  
問合せ先 取締役 兼 CFO 不破 久温  
(TEL 045-444-5232)

## 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の「平成 23 年 3 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

当社グループは、平成 21 年 3 月期決算において当期純損失を計上したことに加え、当社の子会社である日本ビクター株式会社（以下「ビクター」）において、平成 17 年 3 月期より平成 21 年 3 月期まで連続して当期純損失を計上したこと、また、平成 22 年 3 月期に実施した過年度決算訂正の結果、平成 22 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間末においてビクターおよび株式会社ケンウッドの一部の借入金金が財務制限条項に抵触したことなどから、平成 22 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間より継続企業の前提に関する事項について注記を記載しておりました。

当社グループでは、当該状況を解消すべく、平成 22 年 3 月期には、不採算事業の損益改革を柱とする「事業構造改革アクションプラン」に取り組み、固定費の大幅削減をはじめとするコスト構造の抜本的改革を行い、当期には、その効果を発現させながら、経済環境の変化、為替変動、構造改革の影響などをふまえ、現在の売上規模に見合った企業基盤を再構築するための「企業基盤再構築アクションプラン」に取り組み、当期末までに主な施策を完了いたしました。

また、当期には、平成 25 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画に沿って、当社グループの強みを発揮できるカーエレクトロニクス事業および業務用システム事業を柱に統合効果を活かした成長戦略にも取り組みました。

これらの結果、本日発表の「平成 23 年 3 月期決算短信」に記載のとおり、当期は営業利益 129 億 56 百万円、経常利益 75 億 79 百万円と、いずれも経営統合後初めての黒字を計上いたしました。当期純利益については、当第 3 四半期連結累計期間で黒字転換した後、当第 4 四半期に「企業基盤再構築アクションプラン」にともなう一時的な費用を計上したことから、40 億 25 百万円の損失となりました。

このように、当期純利益の黒字化および新たな成長に向けて着実な前進をはかるとともに、財務面では、業績の改善にともなうキャッシュ・フローの改善に加え、棚卸資産の圧縮や資産売却によるキャッシュの増出により、当期において資金の状況が大幅に改善いたしました。加えて、平成 23 年 1 月には新株式発行および自己株式の処分により約 139 億円の資本調達を行ったほか、主要取引金融機関と借り換え条件等について交渉を進め、当期末までに安定資金を確保いたしました。

以上により、平成 22 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間より当平成 23 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間まで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」を、本日発表の「平成 23 年 3 月期決算短信」において解消することといたしました。

以 上